

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00089)

事務事業名称	中小企業支援	款	03	項	05	目	01	事業	001	整理番号	095
現担当課名	産業振興センター	係名	就労・経営支援係					連絡先電話番号	5347-9077	昨年度整理番号	096
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和25年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 4年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般		

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内の中小企業者及びこれらで組織する団体、区内で創業を目指す者	根拠法令等	(1) 杉並区中小企業資金融資あっせん条例 (2) 杉並区中小企業資金融資あっせん条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	中小企業の経営の安定 創業しやすい環境の整備	活動指標	融資あっせん件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内の中小企業者及び団体の事業用資金の融資あっせんを行う。 融資を実行した金融機関に対して利子補給を行う 。区内の中小企業者及び団体、創業を目指す者に対して経営等に関する相談・助言（商工相談）を行う 。区内で創業を目指す者に対し、創業スタートアップ助成や創業セミナーを実施する。	指標名（ 1 ）	融資あっせん件数
		指標名（ 2 ）	商工相談件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内の中小企業者及び団体の事業用資金の融資あっせんを行う。 融資を実行した金融機関に対して利子補給を行う 。区内の中小企業者及び団体、創業を目指す者に対して経営等に関する相談・助言（商工相談）を行う 。区内で創業を目指す者に対し、創業スタートアップ助成や創業セミナーを実施する。	指標説明	
		成果指標	金融機関貸付件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内の中小企業者及び団体の事業用資金の融資あっせんを行う。 融資を実行した金融機関に対して利子補給を行う 。区内の中小企業者及び団体、創業を目指す者に対して経営等に関する相談・助言（商工相談）を行う 。区内で創業を目指す者に対し、創業スタートアップ助成や創業セミナーを実施する。	指標説明	【社会】
		指標名（ 2 ）	利子補給金額
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内の中小企業者及び団体の事業用資金の融資あっせんを行う。 融資を実行した金融機関に対して利子補給を行う 。区内の中小企業者及び団体、創業を目指す者に対して経営等に関する相談・助言（商工相談）を行う 。区内で創業を目指す者に対し、創業スタートアップ助成や創業セミナーを実施する。	指標説明	【社会】
		指標説明	【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)			
活動指標 (1)	1 件	1,054	1,000	894	1,000	852	1,000	85.2	77.7			
活動指標 (2)	2 件	5,633	2,500	2,600	2,500	1,746	2,500	69.8				
成果指標 (1)	3 件	805	1,000	673	1,000	565	1,000	56.5				
成果指標 (2)	4 千円	116,269	140,000	128,322	150,251	165,965	205,999	110.5				
事業費	5 千円	407,386	530,993	382,954	420,011	326,466	456,892	特記事項				
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	46,511	38,264	33,122	37,544	35,268	37,431	主に原油価格・物価高騰等特例資金の申請件数が想定より少なかったことによる、同資金融資に伴う信用保証料補助の予算執行残となっています。			
	上記以外の職員	7 千円	26,992	18,140	18,375	11,025	12,873	12,873				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	480,889	587,397	434,451	468,580	374,607	507,196					
財源	受益者負担分	9 千円	2,703	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	270,555	0	149,449	0	136,441	0				
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	273,258	0	149,449	0	136,441	0				
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	207,631	587,397	285,002	468,580	238,166	507,196					

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 095

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	中小企業資金融資利子補給			166,011
	中小企業資金融資信用保証料補助	484	件	90,081
	中小企業資金融資・商工相談等業務委託			21,199
	創業スタートアップ助成	59	件	14,221
	その他 (勤労者支援ほか)			34,954
取組成果	<p>コロナ禍や原油価格・物価高騰等の影響により困窮する区内中小事業者等に対して、新型コロナウイルス感染症対策特例資金の申込期間の延長や、原油価格・物価高騰等対策特例資金の新設、両融資に伴う信用保証料の全額補助を実施したほか、両融資申請期間中の商工相談窓口相談員を増員するなど、支援の拡充を図りました。また、創業スタートアップ助成を新規に実施したほか、創業支援資金に伴う信用保証料の補助を行うなど、区内での創業を支援しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>原油価格・物価高騰等に伴う社会経済状況や関係団体などの声を踏まえ、令和4年10月から実施している原油価格・物価高騰等対策特例資金の申込期間の延長の必要性について、検討する必要があります。</p> <p>令和4年度に事業を開始した創業スタートアップ助成について、助成を受けた事業者からの声や事業者の状況などを踏まえ、支援策を検討していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>原油価格・物価高騰等対策特例資金融資の申込件数は、令和4年度の1か月平均は約50件でしたが、令和5年度の1か月平均は約30件となり、減少傾向ではあるものの、依然として原油価格及び物価が高止まりしている状況の中で、融資を受けた事業者からは事業継続に役立つとの声が届いています。引き続き、社会経済状況を注視し、当該融資をはじめとする今後の中小企業支援策について検討する必要があります。</p> <p>創業スタートアップ助成は、令和4年度下半期に申込件数が増えて、59件の助成を行い、申込期限前に締切りました。令和5年度は当初から問合せが多く、8月末時点で39件の助成を行いました。助成を受けた事業者からは、創業当初の厳しい時期に大変助かったなどの声が上がっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>原油価格・物価高騰等対策特例資金融資の申込期間を令和5年9月30日までとしていましたが、依然、原油価格及び物価が高止まりしている状況を踏まえ、申込期間を令和6年3月31日まで再延長することとしました。</p> <p>また、創業スタートアップ助成を受けた事業者については、事業継続に向けたフォローアップを行うなど、事業経営の安定化につながるような支援策の検討を行う必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>原油価格や物価高騰、さらには円安などによる厳しい社会経済状況が今後も想定される中、産業界等からの意見等を踏まえ、令和6年度以降も区内中小事業者への有効な支援策 (融資・助成金等) を検討し、必要な予算措置を講じていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00090)

事務事業名称	商店街支援			款	03	項	05	目	01	事業	002	整理番号	096
現担当課名	産業振興センター		係名	商業係			連絡先電話番号	5347-9138		昨年度整理番号	097		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和63年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和4年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般				

令和4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	商店会等	根拠法令等	(1)	杉並区商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱
			(2)	杉並区政策課題対応型商店街事業費補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	イベント助成等により商店街のにぎわいづくりを促進するとともに、装飾灯LED化や防犯カメラ設置の助成により、安全・安心に買い物ができる環境を整備する。商店街が町会やNPOなどと連携し、商店街を含めた地域一帯のにぎわい創出に向けて行う取組を支援することにより、地域の活性化を推進する。	活動指標	指標名(1)	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数
		指標説明	指標名(2)	装飾灯LED化及び防犯カメラ設置補助商店街数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	商店街が実施するイベント事業経費を助成する。商店街の施設整備に要する経費を助成する。装飾灯のLED化・維持経費等を助成する。防犯カメラの設置・維持経費等を助成する。商店街マップ作成・情報化推進の事業の経費を助成する。商店街へ助言等を行うアドバイザーを派遣する。	指標説明	成果指標	商店街のイベントに参加したことの区民の割合
			指標名(1)	区民意向調査による【区民】
			指標名(2)	商店会加盟店舗数
			指標説明	前年度末の杉並区商店会連合会加盟店舗数【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和4年度	令和4年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標(1)	1 件	32	96	42	110	56	110	50.9	67.6
活動指標(2)	2 商店街	10	10	10	12	6	7	50.0	
成果指標(1)	3 %	42.1	43.0	40.4	43.0	33.7	44.0	78.4	
成果指標(2)	4 店	5,562	4,700	5,558	5,700	5,659	5,800	99.3	
事業費	5 千円	355,318	283,415	215,575	386,357	261,270	350,701	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	50,083	51,018	48,807	46,676	52,160	58,226	阿佐谷パールセンターのアーケード改修等大規模な施設整備を実施したこと及びイベント実施件数が増加したため、事業費が前年度比21.2%増となりました。一方、令和4年度に実施予定であった浜田山寺番街のカラー舗装事業にかかる69,021千円について、当該商店街の振興組合化が遅れたことに伴い繰り越したため、執行率は67.6%となりました。また、令和4年度の総合計画改定に伴い成果指標を変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	6,966	7,256	5,660	7,350	4,303	3,678	
総事業費(5+6+7)	8 千円	412,367	341,689	270,042	440,383	317,733	412,605		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	246,092	101,085	73,604	147,668	91,338	138,604	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計(9+10+11)	12 千円	246,092	101,085	73,604	147,668	91,338	138,604	
	差引：一般財源(8-12)	13 千円	166,275	240,604	196,438	292,715	226,395	274,001	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 096

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 (イベント事業)	56	件	58,634
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 (活性化事業)	24	件	116,919
	商店街防犯設備の整備等に対する補助	28	件	6,518
	商店街地域力向上事業費補助	28	件	5,445
	その他 (商店街装飾灯建設助成等)			73,754
取組成果	<p>商店街のにぎわいにつながるイベント事業を支援したほか、老朽化したアーケードやカラー舗装整備等をはじめとする商店街施設の整備、ホームページやマップの作成など商店街の販売促進等について支援しました。その他、安心・安全な商店街環境の整備を図るため、防犯カメラの設置等への補助を行うとともに、商店街が購入したアクリル板や消毒液などの感染対策物品経費への補助を行いました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>商店街のイベントに参加したことのある区民の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止が相次いだことを受け、令和2年度を大きく下回りました (令和2年度: 42.1% 令和4年度: 33.7%)。また、同様にコロナ禍の影響を受け商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 (イベント事業) についても計画件数の約半数にとどまりましたが、前年度実績件数と比べると33.3%増となり、徐々にコロナ禍以前の件数に戻りつつあります。今後も時代に即した適切な商店街支援を通してまちのにぎわいを取り戻し、地域の活性化を図っていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>装飾灯について、4商店会に対して計14本の装飾灯LED化を進めるとともに、建替えに係る補助を実施した結果、区の補助金を活用して整備した数は3,742本となり、LED化率は前年度から0.9%増加し、99.2%となりました。商店街のLED化は着実に進んでいるものの、非LED化の商店街に対してLED化を促していくことが課題となっています。また、2商店会に対して計4台の防犯カメラの設置に係る補助を実施した結果、区の補助金を活用して整備した数は計697台となり、引き続き、安心・安全な商店街の環境整備を図っていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 (イベント事業) 件数は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類相当になったことに伴い、4年ぶりに再開するイベントの申請が増えたこと等から、前年度実績より30件多く86件となる見込みです。また、装飾灯LED化及び防犯カメラ設置補助商店街数は当初計画の7件を上回る8件の申請があり、着実に安心・安全な環境整備が進んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 (イベント事業) 件数は、平成30年度の108件をピークに令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響等から激減し、徐々に回復傾向にあるもののピーク時に近づけることが難しい状況です。そのため、今後はアドバイザー派遣事業を活用して、商店街のイベント事業やホームページ作成等の活性化事業が創設され、商店街のにぎわい創出につながるよう取組を強化していきます。</p> <p>また、非LED化の商店街に対して、引き続き環境負荷の少ないLED化を促していくとともに、耐用年数を経過したLED装飾灯のランプ交換に要する経費について、東京都の補助制度を活用して全額補助を実施し、安心・安全に買い物ができる商店街環境の整備を図っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>コロナ禍により大きな影響を受けた商店街について、にぎわいを取り戻すために一層の取組の強化が求められています。また、商店街の魅力づくりや商店街のPR方法等を課題に掲げる商店街も多く、こうした課題を解決するために、商店街のアドバイザー派遣事業を拡充し、アドバイザーを活用した商店街のイベント創設等に取り組んでいきます。</p> <p>また、高円寺バル商店街振興組合のアーケード改修などの商店街施設の整備等に要する経費のほか、防犯カメラの設置等に関する経費の一部を補助し、安全・安心かつ快適に利用できる商店街づくりを支援します。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00091)

事務事業名称	アニメの振興と活用				款	03	項	05	目	01	事業	003	整理番号	097	
現担当課名	産業振興センター		係名	観光係		連絡先電話番号	5347-9184		昨年度整理番号	098					
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	産業振興センター								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、区外来館者、商店街関係者、アニメ産業関係者	根拠法令等	(1) 杉並区立杉並会館条例 (2) 杉並区公式アニメキャラクター使用取扱要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	杉並アニメーションミュージアムを軸に、区内アニメ制作会社のコンテンツや区公式アニメキャラクター「なみすけ」等を活用し、広域的に来街者を誘致し、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図る。	活動指標	杉並アニメーションミュージアムの年間開館日数 「なみすけ」等の着ぐるみ延使用日数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	杉並アニメーションミュージアムを運営する。 アニメを活かした商店街等の振興を図る。 区公式アニメキャラクター「なみすけ」のPR、使用料の無償化による商用利用を促進する。	成果指標	杉並アニメーションミュージアムの年間の来館者数 【社会】 「なみすけ」使用承認件数 【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 日	218	306	306	164	161	307	98.2	97.2	
活動指標 (2)	2 日	23	80	16	80	51	80	63.8		
成果指標 (1)	3 人	20,354	24,500	35,731	28,000	39,124	45,000	139.7		
成果指標 (2)	4 件	58	80	71	80	68	80	85.0		
事業費	5 千円	81,854	90,056	84,390	86,449	84,047	102,678	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	26,274	20,407	25,196	20,023	23,706	19,963	杉並会館の改修に伴い15か月間休館していた杉並アニメーションミュージアムが令和5年度は通常運営となるため事業費が増額しています。 また、成果指標の「なみすけ」商品化許諾件数について、「なみすけ」の認知拡大を成果とするため、指標を「なみすけ」使用承認件数に変更しました。	
	上記以外の職員	7 千円	3,628	3,628	3,675	3,675	3,678	3,678		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	111,756	114,091	113,261	110,147	111,431	126,319			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	3,290	0	3,578	0	3,322	0		
	その他の補助金等	11 千円	5,364	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	8,654	5,000	8,578	5,000	8,322	5,000		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	103,102	109,091	104,683	105,147	103,109	121,319			

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 097

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並アニメーションミュージアム運営業務委託			54,492
	杉並アニメーションミュージアム建物維持管理委託			7,171
	他区連携事業			4,983
	なみすけの普及			2,775
	その他 (杉並アニメーションミュージアム著作権更新、光熱水費の支出ほか)			14,626
取組成果	<p>杉並アニメーションミュージアムでは、杉並会館改修に伴う5か月間の休館がありました。区立施設で巡回展を行ったほか、常設展示の一部リニューアルや再開後の企画展での人気アニメコンテンツの活用などにより、来館者数は令和3年度比3,393人増の39,124人となりました。また、中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会による「すぎなみフェスタ」と連携したイベントや、杉並アニメーションミュージアム再開イベントを開催し、「アニメのまち杉並」の魅力を発信しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>アニメは、世界に誇る日本の文化として国内外で高い評価を得ており、アニメの振興と活用は、今後も全国各地で取り込まれるものと考えられます。</p> <p>杉並アニメーションミュージアムは、これまで展示の充実や積極的な情報発信により、杉並の観光拠点として来館者数を増やしてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響や休館により来館者数が減少しています。インバウンドを含めた観光客の動向は、徐々に回復傾向にありますが、魅力ある展示内容と情報発信で、来館者数を新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻し、さらなる杉並アニメーションミュージアムへの観光客の誘致を積極的に図ります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和4年度における杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外観光客の激減や、杉並会館の改修に伴う5か月間の休館があったものの、中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会の取組と合わせて行ったイベントにおいて、人気アニメコンテンツを活用できたことなどから、目標を上回る39,124人の来館がありました。</p> <p>また、「なみすけ」の使用承認件数は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、目標値を下回りました。なみすけグッズフェアやイベント出演などを通じて、さらなるキャラクター認知度の向上、デザインの利用促進を図ります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度上半期における杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、外国人観光客の戻りもあり、回復傾向にありますが、コロナ禍前の水準には達していません。来館者数の増加に向けて、区内アニメ制作会社と連携した展示やトークイベント、学校への出張ワークショップなどを実施し、施設の魅力・認知度の向上を図っています。中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会では、WEBページの更新、都庁や他区での取組紹介の展示ブースを活用した広域的な情報発信のほか、実際に区への誘客を促すイベントとしてアニメマンガフェスを開催する予定です。</p> <p>また、「なみすけ」の使用承認件数は、令和4年度と変わらない水準で推移していますが、イベントの復活に合わせた着ぐるみの活用やなみすけグッズ販売などで認知拡大を図っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、インバウンドの本格的な回復などを受けて、コロナ禍前の水準に戻っていくことが予想されます。さらなる来館者数の増加に向けて、既存の体験型展示や常設展示の充実、デジタル機器を活用した展示、区内アニメ制作会社と連携した取組など施設の魅力を引き続き高めていきます。情報発信面においては、SNSでの発信を強化する等、効果的な発信ができるよう受託事業者と連携して、施設の認知度をさらに高められるよう取組を進めます。</p> <p>また、「アニメのまち」のブランディングのため、中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会の取組などを通じて、自治体の枠を超えた広域的な情報発信を積極的に取組むとともに、人気アニメコンテンツを活用したイベント開催による来街者の誘致を行っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数を増やすため、魅力あるコンテンツを活用した企画や体験型展示・デジタル展示の充実による施設の魅力を高めるとともに、アニメ制作会社と連携した展示やイベントの開催などに取組みます。さらに、施設の認知度を高めるため、WEBやSNSでの発信を強化するなど、情報発信に力を入れるほか、インバウンド向けの多言語対応も引き続き行っていきます。</p> <p>また、今後も、区内アニメ制作会社と連携した展示や商店街イベントと連携した取組、中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業の更なる推進に加え、近隣自治体の練馬区等の学校へのアニメーションミュージアム企画展チラシの配布を通じた来街者の誘致等、アニメに着目した「アニメのまち杉並」としての地域のにぎわい創出を図ります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00644)

事務事業名称	観光促進	款	03	項	05	目	01	事業	004	整理番号	098
現担当課名	産業振興センター	係名	観光係					連絡先電話番号	5347-9184	昨年度整理番号	099
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 4年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般		

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、区外来街者（海外含む）、商店・事業者	根拠法令等	(1) 中央線あるあるプロジェクト実行委員会規約 (2) 東京高円寺阿波おどり振興事業補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	杉並区の「良さ」「らしさ」を再発見し、地域の様々な資源を観光コンテンツとして区の内外に広く発信することで、区外からの来街者増を図り、持続的な「まちなぎわい」や、チャレンジマインドのある商店・事業者の「商機」を創出する。	活動指標	中央線あるあるプロジェクトWEB情報発信数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	中央線あるあるプロジェクトを推進する。 東京高円寺阿波おどりを支援する。 すぎなみ学倶楽部を運営する。 魅力発信事業を実施する。 フィルムコミッションを運営する。 図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及を図る。	指標名 (1)	日本語・外国語・日本語Facebook、外国語Facebook、インスタグラムでの情報発信数
		指標名 (2)	すぎなみ学倶楽部掲載頁数
		指標説明	ページ、コラム、なみすけインスタグラムへの掲載数
		成果指標	共催イベント集客数
		指標名 (1)	東京高円寺阿波おどり及び高円寺フェスの来場者数【社会】
		指標名 (2)	すぎなみ学倶楽部アクセス数
		指標説明	ページビュー数【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	326	316	333	309	347	316	112.3	99.6
活動指標 (2)	2 頁	239	246	247	252	252	212	100.0	
成果指標 (1)	3 人	90,000	210,000	70,000	213,000	202,829	1,220,000	95.2	
成果指標 (2)	4 件	793,691	670,000	937,082	800,000	988,506	990,000	123.6	
事業費	5 千円	51,538	60,049	56,211	59,122	58,877	58,539	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	45,831	39,114	45,052	38,378	45,832	38,263	活動指標について、「中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数」から、より活動が分かりやすい「中央線あるあるプロジェクトWEB情報発信数」に変更しました。 また、成果指標の「共催イベント集客数」の内容について、「高円寺フェス」だけでなく「東京高円寺阿波おどり」の来場者数を加え、より適切な指標としました。
	上記以外の職員	7 千円	3,628	3,628	3,675	3,675	3,678	3,678	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	100,997	102,791	104,938	101,175	108,387	100,480		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	821	4,000	255	1,163	732	1,163	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	821	4,000	255	1,163	732	1,163	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	100,176	98,791	104,683	100,012	107,655	99,317	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 098

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	「にぎわい・商機」創出プログラム (中央線あるあるプロジェクト)			42,000
	観光事業補助 (東京高円寺阿波おどり)			3,000
	すぎなみ学倶楽部の運営			7,754
	魅力発信事業			5,000
	その他 (観光PR (図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及ほか))			1,123
取組成果	<p>JR中央線沿線を中心とした観光事業「中央線あるあるプロジェクト」において、武蔵野市と連携した情報発信や外国人向け旅マエの情報発信を行いました。杉並のまちの魅力を多角的に発信するサイト「すぎなみ学倶楽部」では、区制施行90周年関連記事の掲載により、PV数は令和3年度比51,424件増の988,506件となりました。</p> <p>「魅力発信事業」では、西武新宿線及び京王井の頭線沿線の魅力を発掘することを目的にフォトコンテストを3回実施したところ、506作品の応募がありました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>新型コロナウイルス感染症流行前において、訪日外国人旅行者数は増加傾向にあり、日本政府観光局によると、令和元年は約3,188万人と過去最高を更新しました。その後、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人旅行者数は令和2年は約412万人、令和3年は約25万人と大幅に減少していましたが、令和4年は、約383万人と新型コロナウイルス感染症の収束に伴う今後の観光需要の回復傾向があり、観光客の誘致を積極的に行っていく必要があります。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント開催制限の緩和もあり、中央線あるあるプロジェクトWEB情報発信数が目標値を上回りました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>「共催イベント集客数」については、東京高円寺阿波おどりは、新型コロナウイルス感染症の影響により屋内開催のみとなり、2,829人の来場者でしたが、高円寺フェスでは、基本的な感染症対策をとりつつも、令和元年と同様のイベント規模に戻したことから、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度と同程度の約20万人の来場者がありました。なお、「すぎなみ学倶楽部」では、区制施行90周年記念事業に関連した記事の掲載等により、PV数は前年比51,424件増の988,506件となり、目標値を大幅に上回りました。</p> <p>引き続き「杉並ならではの」魅力ある観光コンテンツを充実させ、イベントやWEBを活用した積極的な情報発信に取り組みながら、来街者を増やし、まちのにぎわい・商機を創出していきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>「中央線あるあるプロジェクト」では、令和5年5月から7月にかけてプロポーザルを実施し、日本人向け、外国人向け情報発信を行う事業者を選定したほか、一般参加型企画として、作家の角田光代さんなどを特別審査員とする中央線4駅の街の魅力キャッチコピー募集を実施する等取組みを進めました。「すぎなみ学倶楽部」では、区民ライター研修会を実施するなど、魅力あるコンテンツの執筆ができるよう活動を進めていますが、ページビュー数は集計方法の変更などが影響し、令和4年度に比べ減少しています。「魅力発信事業」では、プロポーザルにより選定した事業者による西武新宿線及び京王井の頭線沿線の魅力に着眼したパンフレットの作成や街歩きイベントの実施等の情報発信事業に取組んでいく予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に引き下げられたこと等を受け、今後ますます外国人を含めた来街者が増加傾向となってくることを踏まえ、この機を捉えた観光情報・魅力発信事業の更なる充実を図っていく必要があります。「杉並ならではの」魅力を発信するため、人が集まるイベントや、WEB上での情報においても時勢を捉えた魅力あるコンテンツを更新していくため「中央線あるあるプロジェクト」の実行委員や「すぎなみ学倶楽部」の区民ライター等の意見交換を綿密に実施していきます。また、令和4年度から実施している西武新宿線及び京王井の頭線沿線の魅力発信事業については、JR中央線沿線の魅力と合わせたにぎわい創出のため、区内全域の回遊性を高めることができるシェアサイクル等を利用して観光客誘致につながるよう取組を進めていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>引き続き、民間団体や区民等と協働して「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等を通じた効果的な情報発信を行っています。また、「魅力発信事業」で取り上げる西武新宿線や京王井の頭線沿線の魅力を、JR中央線沿線の魅力と合わせて区内全域のにぎわい創出や観光客の誘致につなげていくため、引き続きプロポーザルなどを実施し、事業者の創意工夫を生かした魅力の向上や区内回遊性を高める取組を進めていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(0092)

事務事業名称	産業商工会館維持管理			款	03	項	05	目	01	事業	006	整理番号	100
現担当課名	産業振興センター		係名	管理係			連絡先電話番号	4112		昨年度整理番号	101		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和40年度												
令和 4年度担当課名	産業振興センター						事業評価区分	施設維持管理					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内産業団体、区民等	根拠法令等	(1) 地方自治法第244条 (2) 杉並区立産業商工会館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並区の産業振興を目的とし、区内産業団体等に商品展示場・会議室を提供する。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	産業商工会館を適切に維持管理する。	指標説明	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								98.5
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	45,373	51,739	50,510	50,017	49,274	52,512	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,102	4,252	4,172	3,337	4,076	3,158	
	上記以外の職員	7 千円	0	726	735	735	736	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	50,475	56,717	55,417	54,089	54,086	55,670		
財源	受益者負担分	9 千円	2,446	4,326	3,664	4,431	4,949	4,455	
	国・都からの補助金	10 千円	458	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,904	4,326	3,664	4,431	4,949	4,455	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	47,571	52,391	51,753	49,658	49,137	51,215	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 100

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	産業商工会館運営業務委託			32,014
	産業商工会館建物維持管理委託			14,154
	光熱水費の支出			2,769
	その他 (修繕・消耗品購入ほか)			337
取組成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していた展示室・会議室の貸出回数は、令和2年度は2,042回、令和3年度は3,362回と回復傾向にあり、令和4年度の実績は4,010回となったことから、コロナ禍前の平成30年度の3,945回を上回りました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	施設の利用者アンケートにおける接遇等の改善を求める声に対して、受託事業者と連携し問題点等の解決に向けて取り組んだところ、令和5年6月に実施した利用者アンケートによる満足度が、令和4年6月の77.3%に比べ6ポイント上昇し83.3%となりました。 施設設備の老朽化に伴い地下2階の汚水ポンプのセンサーに不具合が生じているため、設備の不具合により利用者に不便が生じないよう、受託事業者や営繕課とも連携して日々の点検を強化するなどの対応を図っています。
事業の方向性・改善策	施設の日常点検を丁寧に行うなど、引き続き適切な維持管理に努めます。また、区内産業団体や企業等が研修会や講演会等を行う際に利用できる施設として、より多くの利用が見込めるよう、区が実施する事業等の機会を捉えて、当該施設の案内チラシを配布する等周知に努め稼働率の向上に取り組みます。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	施設の老朽化に伴う修繕費について、令和6年度に必要な予算を計上します。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00095)

事務事業名称	農業の支援・育成		款	03	項	05	目	02	事業	002	整理番号	103
現担当課名	産業振興センター		係名	都市農業係			連絡先電話番号	5347-9136		昨年度整理番号	104	
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和26年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	06	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和 4年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般			

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	一般区民、農業者、農業者団体	根拠法令等	(1) (2)	杉並区営農活動支援補助金交付要綱 杉並区農業体験農園に対する援助等に関する要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	地産地消事業の推進・拡充 営農支援・保全策の充実 都市農業についての区民理解の向上	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	農家戸数 農地台帳上の区内農家戸数 区主催即売会実施日数 草花植木野菜等展示即売会（春・秋）
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	地産地消推進連絡会の運営を行う。 営農活動支援費の助成を行う。 農業体験農園の開園・運営に関する助成を行う。 防災兼用農業用井戸の設置に伴う助成を行う。 草花植木野菜等展示即売会を開催（春・秋）する	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	農地面積 農地台帳上の区内農地面積【社会】 区主催即売会売上金額 草花植木野菜等展示即売会（春・秋）売上金額【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 戸	127	127	125	125	121	121	96.8	56.3
活動指標 (2)	2 日	3	3	2	3	3	3	100.0	
成果指標 (1)	3 ha	38.6	38.6	37.7	37.7	37.4	37.4	99.2	
成果指標 (2)	4 千円	1,809	1,800	814	1,800	1,955	1,800	108.6	
事業費	5 千円	18,125	30,447	16,018	26,910	15,151	30,911	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	12,755	12,755	12,515	12,515	15,638	12,477	防災兼用農業井戸及び農業体験農園の新規開園の実績がなかったため執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	5,442	5,442	5,513	5,513	5,517	5,517	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	36,322	48,644	34,046	44,938	36,306	48,905		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	5,000	5,707	0	2,853	0	7,524	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,000	5,707	0	2,853	0	7,524	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	31,322	42,937	34,046	42,085	36,306	41,381	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 103

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	営農活動支援費の助成	27	件	7,490
	農業体験農園の開園・運営に関する助成	2	件	1,430
	企業的農業経営者集団補助	5	件	1,300
	その他 (農業情報誌「杉並農人」発行ほか)			4,931
取組成果	<p>営農活動の支援として、農業体験農園の運営助成を2件、企業的農業経営者集団活動支援助成を5件行ったほか、営農活動支援費を農家に対し、27件助成しました。また、学校給食「地元野菜デー」は生育状況等の影響により1回のみの実施となりましたが、農業者グループ等が実施する即売会を充実させたほか、区主催の即売会の実施(3日)や農業情報誌「杉並農人」(年2回)、「農産物直販マップ」(年2回)の発行を通して地産地消を推進しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>営農活動支援補助金の交付などにより農業者の経営支援に努めるものの農家戸数及び農地面積は、高齢化や後継者不足問題などにより年々減少を続けており、令和5年3月31日時点の農地面積は37.4ha、農家戸数は121戸(前年度比0.3ha減、4戸減)となっています。農地の適正管理や特定生産緑地の指定に向け、引き続き農業委員会や農業関係機関との連携強化を図り、農地保全制度の活用を推進するとともに、農業体験イベントや即売会などを通じ、都市農地の必要性について理解促進に努め、農業者・区民の両面から農地保全を図る必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>援農ボランティアの養成・登録を進めるとともに、人手不足などの様々な課題を抱える農業者の個々のニーズに応じた支援を行うことができるよう農業ボランティア活動のマッチングを行う仕組みづくりに取り組む必要があります。また、教育委員会やJAと連携を密にし、学校や農業者が抱える課題解決を図って学校給食における「地元野菜デー」の拡充に向けて取り組む必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>営農活動支援補助金について、農家の営農状況を踏まえた見直しを行ったことにより、昨年度を超えるペースで令和5年度は交付申請が提出されるなど、肥料高騰などに直面している農家への経営支援を行いました。</p> <p>「地元野菜デー」については、令和5年7月において令和4年度より11校多い129校にて実施し、さらに12月における全校での実施に向けて取り組むなど、地産地消を推進していきます。</p> <p>また、援農ボランティアの養成・登録を進め、ボランティア延べ3人を農業者にマッチングし、農業者の人的支援を行いました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>営農活動支援補助金の助成などにより、農業経営の安定化を図るとともに、高齢化や後継者不足に悩む農業者とボランティアのマッチングを推進して、人材の確保に努めていきます。また、学務課や関係団体との連携を強化し、「地元野菜デー」の全校実施や学校給食への杉並産食材の提供品目の拡充に向けた検討を進めるなど、更なる地産地消を推進していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>都市農地を保全していくためには、農業の担い手の確保が喫緊の課題であり、農業ボランティアバンクの登録者を拡充し、農業者と農業ボランティアのマッチングを着実に進めていきます。</p> <p>環境への負荷の低減が図られる地産地消を推進するため、即売会の拡充や教育委員会及び農業関係団体と連携した「地元野菜デー」の全校における継続実施に向けて取り組むとともに、杉並産農産物の更なる供給拡大を図るために、学校栄養士や関係団体などと体制づくりに向けて検討を進めていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00096)

事務事業名称	都市農地確保				款	03	項	05	目	02	事業	003	整理番号	104	
現担当課名	産業振興センター		係名	都市農業係		連絡先電話番号	5347-9136		昨年度整理番号	105					
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和49年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	06	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	産業振興センター								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民農園：利用抽選に当選した世帯・団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体） 農福連携農園：利用抽選に当選した団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体）	根拠法令等 (1) 特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 (2) 杉並区特定農地貸付規程
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	農園の区画提供による都市農業への理解喚起 農地面積の維持による緑地の保全 農地の多面的機能の発揮と理解促進	活動指標 指標名（ 1 ） 貸出区画数 指標説明 区民農園貸出区画数（世帯用） 指標名（ 2 ） 農園利用団体数 指標説明 貸出区画利用障害者施設等団体数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民農園：農業者等から提供された農地を区が管理し、区民農園として区民に野菜づくりや園芸を楽しむ機会を提供する。 農福連携農園：農地を活用し、農業と福祉の連携事業として農産物、農作業を通じて障害者等のいきがいつくり・健康増進などを図る。	成果指標 指標名（ 1 ） 区民農園の面積 指標説明 区が維持管理している区民農園面積の合計【行政】 指標名（ 2 ） 団体利用農園活動実績 指標説明 団体利用農園活動回数【区民】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 区画	629	630	629	629	629	832	100.0	96.9	
活動指標 (2)	2 団体	6	6	6	11	11	11	100.0		
成果指標 (1)	3 h a	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.5	100.0		
成果指標 (2)	4 回	134	144	148	250	337	340	134.8		
事業費	5 千円	149,908	69,331	65,810	41,256	39,973	76,384	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	17,431	12,755	12,515	12,515	15,638	12,477	令和3年度農福連携農園の外構工事を実施したため、令和4年度の事業費が減となりました。	
	上記以外の職員	7 千円	5,442	5,442	5,513	5,513	5,517	5,517		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	172,781	87,528	83,838	59,284	61,128	94,378			
財源	受益者負担分	9 千円	4,447	4,396	4,456	4,430	4,408	5,278		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,447	4,396	4,456	4,430	4,408	5,278		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	168,334	83,132	79,382	54,854	56,720	89,100		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 104

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	区民農園維持管理委託	7	所	14,505
	農福連携農園管理委託	1	所	21,901
	その他 (事務経費ほか)			3,567
取組成果	<p>区民農園6園、660区画 (世帯貸629区画、団体貸31区画) の貸付を実施するとともに、上井草二丁目団体利用農園では、小学校の農業体験の場を拡充し、区内の保育園、小学校等延べ55団体の収穫体験を実施しました。また、農福連携農園では、障害者施設等に加え、子ども食堂への食材提供も充実させ、25団体へ延べ205回の食材提供を行うとともに、新たに毎月第2土曜日のマルシェやすぎのこ農園まつりを開催しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区民が農に親しむことができる場を提供するとともに、都市農地の保全を図るため、区民農園を6か所開設していますが、区民の需要は高く、待機者が200名程度発生 (令和5年3月時点) していることから、新たに井草区民農園を令和5年10月に開設し、区民が農にふれあう機会を拡充します。</p> <p>また、同様に、上井草二丁目団体利用農園においても収穫体験等を実施するとともに、農福連携農園においては、障害者施設等への区画貸出を拡充 (令和3年度比5団体増) し、障害者・高齢者等のいきがい創出・健康増進の機会を提供するなど、今後も区民・地域との連携事業を通じて、都市農業・農地保全の大切さについて区民の理解促進を図る必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年10月1日井草区民農園の開園に伴い、区民農園を7園、貸出区画数を802区画に拡充し、より多くの区民に農に親しむことができる場を提供するとともに、都市農地の保全を図りました。</p> <p>また、農福連携農園では、障害者施設等の11団体に対して農園区画を貸し出すなど、障害者や高齢者等のいきがい創出・健康増進の機会を提供するとともに、障害者施設に加え子ども食堂への食材提供を拡充したほか、年4回実施の収穫体験や毎月第2土曜日に開催の即売会などを通じて、都市農業の理解促進を図りました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>都市農地貸借等の新たな農地制度の活用を引き続き農家に周知して、区民農園の増園を図るなど、より多くの区民に新たな農業体験の場を提供していきます。</p> <p>農福連携事業については、障害者施設や子ども食堂などに食材を提供して運営支援するとともに、さざんかステップアップ教室や、すぎのこ農園まつりにおけるすぎのき生活園、また農芸高校との連携などによる、事業の拡充を図ります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>依然として区民農園の需要は高い状況が続くことから、都市農地貸借等の農地制度を活用した区民農園の増園など新たな農にふれあう場を創出し、農業体験の機会の拡充を図っていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00097)

事務事業名称	勤労福祉会館維持管理	款	03	項	05	目	03	事業	001	整理番号	105
現担当課名	産業振興センター	係名	管理係			連絡先電話番号	5347-9134		昨年度整理番号	106	
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和59年度										
令和 4年度担当課名	産業振興センター	事業評価区分	施設維持管理								

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 勤労者、区民等	根拠法令等 (1) 杉並区立勤労福祉会館条例 (2) 杉並区立勤労福祉会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 中小企業に働く勤労者、区民等の文化・教養及び福祉の向上を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 勤労福祉会館を適切に維持管理する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								96.3
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	42,905	56,363	56,131	59,521	57,342	55,536	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,701	4,252	4,172	3,337	4,076	2,660	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	44,606	60,615	60,303	62,858	61,418	58,196		
財源	受益者負担分	9 千円	23	20	20	20	71	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	23	20	20	20	71	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	44,583	60,595	60,283	62,838	61,347	58,196	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 105

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	勤労福祉会館指定管理料			
	その他 (修繕・消耗品購入)			70
取組成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により減少していた施設の貸出回数は、令和2年度は3,656回、令和3年度は11,188回と回復傾向にあり、令和4年度の実績は13,055回となったことから、コロナ禍前の平成30年度の12,458回を上回りました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	指定管理者制度の下、適切な維持管理に努めるとともに、勤労者等の文化、教養及び福祉の向上を図る施設として、令和5年度は、勤労者向けの手軽にできる料理教室を開催する等、指定管理者の創意工夫を生かした勤労者を対象とした事業を実施していきます。
事業の方向性・改善策	令和2年度から導入した指定管理者制度を通じて、引き続き民間のノウハウを生かした効率的な運営とサービスの向上を図っていきます。 また、令和4年度の財政援助団体等監査による注意事項については、関係各課と指定管理者間で共有した上で、注意事項に即したチェックシートを新たに作成し、区と指定管理者の間で月1回行う連絡調整会議の場で内容確認するなど、再発防止策を講じ適切に対応しています。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	勤労者、区民等の文化・教養及び福祉の向上を図る施設として、令和4年度の財政援助団体等監査による注意事項による再発防止策を引き続き講じていくとともに、関係各課及び指定管理者と連携し、適切な維持管理を行っていきます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00099)

事務事業名称	就労支援			款	03	項	05	目	04	事業	001	整理番号	106
現担当課名	産業振興センター		係名	就労・経営支援係			連絡先電話番号	5347-9077		昨年度整理番号	107		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	02					
令和 4年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	若者を中心とした求職者及び区内事業者	根拠法令等	(1) 杉並区就労支援センター運営要綱 (2) 杉並区と東京労働局及び新宿公共職業安定所が雇用、産業施策等を一体的に実施するための協定
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	求職者の個々の状況に応じて就労準備相談等の支援を実施し、より多くの求職者が就職に結び付くようにする。 区内事業所の雇用支援を実施し、区内事業所と求職者とのマッチングを図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	就労準備相談・心としごとの相談件数 職業相談件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	求職者に対して就労準備相談、就労支援セミナー、職業相談、職業紹介、定着相談支援を実施する。相談の利用だけでは就職に至らない若者等に対して社会適応力訓練、就労準備訓練を実施する。ハローワークと連携し、就職面接会を実施する。区内事業所の特徴や魅力を含む求人情報を求職者に情報提供する。インターネット・応募書類作成パソコンコーナー、就職情報コーナーを運営する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	就労準備相談者の就職決定件数 【社会】 ハローワークでの就職決定件数 【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	1,821	2,150	1,588	2,150	1,294	2,150	60.2	95.8
活動指標 (2)	2 件	5,319	5,000	8,856	5,000	6,014	5,000	120.3	
成果指標 (1)	3 件	175	150	167	160	180	160	112.5	
成果指標 (2)	4 件	290	700	363	690	315	690	45.7	
事業費	5 千円	88,149	93,740	87,955	94,254	90,275	95,009	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,755	12,755	12,515	12,515	14,557	12,477	
	上記以外の職員	7 千円	3,628	3,628	3,675	3,675	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	104,532	110,123	104,145	110,444	106,671	109,325		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	1,408	2,337	1,369	2,686	2,127	2,686	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,408	2,337	1,369	2,686	2,127	2,686	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	103,124	107,786	102,776	107,758	104,544	106,639	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 106

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	若者就労支援コーナー (すぎJOB) の運営業務委託			41,822
	就労準備訓練及び社会適応力訓練支援事業 (すぎトレ) 業務委託			27,101
	就職・相談面接会の実施			3,096
	就労支援センター維持管理			14,522
	その他 (ハローワークコーナー運営ほか)			3,734
取組成果	<p>若者就労支援コーナー新規登録者数は683人 (令和3年度751人)、就労準備相談・心としごとの相談件数は延べ1,294件 (同1,588件)、就職決定件数は180件 (同167件)、ジョブトレーニングコーナー利用登録者数は28人 (同27人)、ハローワークコーナー就職決定件数は315件 (同363件) となりました。令和4年度から、ジョブトレーニングコーナーの利用対象者を「原則39歳以下」から「原則15歳から49歳の方及びそのご家族」に拡大しました。就職相談・面接会は46回実施、延べ121事業所464人が参加、136人が採用されました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>若者就労支援コーナーでは、新規登録者及び就労準備相談・心としごとの相談件数は令和3年度実績を下回りましたが、就職決定数は令和3年度実績を上回ったことから、令和3年度に比べると、少ない相談実績で就職できている傾向にあります。雇用情勢の改善が見られた一方で、新規登録者が若干減少していることから、広報やホームページに加えSNSなどを活用することで、より多くの区民に取組を周知し、認知度を向上させる必要があります。</p> <p>ジョブトレーニングコーナーでは、利用者がコロナ禍で減少した後、令和4年度までほぼ横ばいで推移しているが、今後は、SNSを活用した周知の強化に加え、引き続き、オンライン相談の活用による相談体制を確保するなど、利用促進に力を入れていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>若者就労支援コーナーでは、ハローワークや福祉部門、就労関係機関と連携して、就職から職場定着まで一貫した支援を実施し、令和4年度は前年度比13人増の180人の就職決定に結び付けました。令和5年度上半期の就職決定数は、令和4年度と同水準で、今のところ推移しています。</p> <p>令和5年度から、若者就労支援コーナーにおいて、区内事業者と就労支援センター利用者等の求職者の就労に向けたマッチングを行う個別就職面接会を開始しましたが、参加事業者の求人の条件と、参加者が求める職種や雇用形態が合致しないことから、就職決定に至るケースが少ない状況となっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>若者就労支援コーナーの新規登録者数や就職準備相談者数及びジョブトレーニングコーナーの利用者数を増やしていくため、利用者アンケートで利用するに至ったきっかけを調査し、周知方法の改善に役立てていき、就労への不安や悩みを抱える潜在求職者のセンター利用につなげていきます。</p> <p>また、令和5年度から開始した個別就職面接会については、就労支援センターの利用者からの意見を参考に、希望の多い職種や正社員だけでなくパートやアルバイト等の幅広い採用条件を許容できる参加事業者を募るなど、より多くの求職者を就労に結びつけるための改善を図っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>就労支援センターの若者就労支援コーナー・ジョブトレーニングコーナー・ハローワークコーナーの3つのコーナーでの一体的支援のほか、ハローワーク新宿や近隣区と連携した合同就職面接会、令和5年度から開始した個別就職面接会等を引き続き実施するとともに、利用者アンケートに基づいた就労支援事業の周知の強化・改善に取り組み、より多くの求職者を就労に結びつけていきます。</p>	